

## 犬の膀胱・尿道移行上皮癌および前立腺癌 に対する臨床試験

犬の膀胱・尿道移行上皮癌と前立腺癌は、尿路に発生する悪性腫瘍です。これらの腫瘍は犬の悪性腫瘍の中でも悪性度が高く、予後が悪いことが知られています。外科手術により癌組織をすべて摘出することができれば根治となりますが、手術を行っても再発や転移を起こすことがあります。また、既に転移のある症例に対して根治目的の手術はできません。そのため内科療法が重要となりますが、現在のところ有効な薬剤は確立されていません。

私たちはこれまでの研究で、犬の移行上皮癌や前立腺癌の発症・悪化に関与し、治療標的となりうる分子を発見しました。現在その分子を特異的に阻害する薬剤の有効性と安全性を調べるために臨床試験を実施しています。この臨床試験は、2017年7月に東京大学動物医療センター治験委員会で承認を受けました。ご協力いただける方は上記連絡先（東京大学附属動物医療センター受付）にご連絡ください。

### 対象となる症例

- 移行上皮癌（膀胱・尿道）または前立腺癌と診断された犬（疑いでも可）
- 抗がん剤、放射線療法、外科摘出を実施していない（NSAIDsは可）
- 薬剤（錠剤と粉薬）を1日1回経口投与できる
- 東京大学附属動物医療センターに通院できる（4週間に1回程度の頻度）

### 当院で実施すること

- 初診時に移行上皮癌または前立腺癌であるかを検査します
  - 治験内容を説明し、参加の同意を確認します
  - 参加していただく場合は治験薬を毎日1回経口投与し、4週間に1回当院にて効果判定と副作用を確認します
- ※臨床試験に参加して頂く場合、検査費と薬剤費の一部が無償になります